

[通常機体] サ A

ザク III F 型

機体名	ザク III F 型	画像
型式番号	AMX-011F	
英語名		
所属		
パイロット		
装甲材質		
装備		
作品名		
参考書籍	MG 誌 Vol. 2 9	

内容

量産型を前提に開発が進められたザク III。

結果的にはインコム・システムが有望視されたドーベンウルフに量産の道を譲る事となり、皮肉にも謀反をひるがえしたグレミー・トト軍の主力機であるこのドーベンウルフを向えうたなければならなかったザク III は、悲劇の機体といえるだろう。

量産を考慮に入れていたその証しとして、機体各部に設けられた多数のラッチが挙げられる。エキステンション・ブースターを取り付けた G 型に代表されるオプションの数々は、この F 型のリゲルグと共通のバックパック、腋の下に装着されるバズーカなど多彩であり、汎用性の高さを垣間見る事ができよう。

備考

■ 作例製作

星光彦

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	
全長	
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	